

ツール 51：沈黙

このツールの目的

より質の高い傾聴力と意思決定力を得るために、グループ・ダイナミクスを変える。

このツールを使うタイミング

収束のフェーズで、どのアイデアがうまくいきそうかについての意思決定が必要なタイミングや生まれたアイデアを精緻化する必要があるタイミング。より早期のフェーズでも有用。

なぜ沈黙を使うのか

沈黙の力を侮ってはいけない。ステークホルダーミーティングにおける最善の意見が、自らの傾聴力をベースに考えをまとめるのに少し時間を必要とする内向的な人から出することは少なくない。ファシリテーターの仕事は、新たなアイデアが出やすくなる建設的な雰囲気づくりを行うことである。グループディスカッションの中で新たなアイデアやイノベーションが生まれることもある。だが、多くの場合、新たなアイデアやイノベーションが生まれるのは後になってからだ。たとえば家に帰る途上や散歩中、あるいは夜中に目覚めたときなどである。

このような内省のための環境づくりを行うのは難しい場合もあるが、不可能ではない。以下で、いくつかの推奨事項を紹介する：

- 自分一人になれる時間があるような形でミーティングを企画する。たとえば休憩時間を十分取る、あるいはまだ明るいうちにミーティングを中断し、屋外を散策できるようにする。
- メンバーに対し、10分間自分だけで考えをまとめてノートに記し、その後その内容を他のメンバー1人か2人と議論するように言う。
- 全体セッションで、あまり発言していないメンバーの意見をみんなで聴くようにする。

重大事が議案となっているミーティングでは、怒りやフラストレーションといった感情が渦巻くことがある。これはよい結果をもたらす場合もあるが、一般的に言って、参加者に頭を冷やす時間を与えることが推奨される。アドレナリンレベルを通常の範囲にまで抑えた方が、人はよりよい意思決定を行うことができ、人の意見をよりしっかり聴くことができる。1つの質問（たとえば「我々は次に何をすべきだろうか？」あるいは「この状況を変えるには何が必要だろうか？」）について、1分間黙って内省するよう促すことで、ステークホルダーミーティングの雰囲気や生産性が大きく改善することがある。

さらに知りたい方は：

沈黙の実践や活用についての情報をさらに知りたい場合は：

<https://prezi.com/ffm0qcscaxff/soundsofsilencews/>

落ち着きを保つためのヒント：

www.forbes.com/sites/travisbradberry/2014/02/06/how-successfulpeople-stay-calm/

内向的vs外向的ファシリテーターについては：Herman Brouwer (2013) *Are introverts better at partnership brokering?* PBA Journal Betwixt and Between Issue #1, [link](#).